

令和6年度 学校評価報告書

学校番号(小49) 長崎市立(女の都小)学校

1 教育目標

郷土愛に満ち、主体的に学びに取り組む、心豊かで心身ともにたくましい子どもの育成

2 学校経営方針

児童の夢や目標達成のため、学校内での協働、家庭・地域との連携によって、「学力」「礼儀・マナー」「自主性・実践力」を向上させ、「郷土を愛するめのとっ子」の育成を図る。

3 重点目標

それぞれの笑顔 みんなでもっとにこにこ 女の都小

4 自己評価

領域	項目	質問内容	アンケート結果			分析及び改善策
			(肯定的割合・%)			
			児童生徒	保護者	教職員	
学校経営	教育目標	教育目標を達成している	87	87	100	昨年度に比べて評価が低下した項目がある。連携の強化とともに、積極的に発信していく。
	学校の雰囲気	明るく楽しい雰囲気である	90	94	100	
	組織運営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			73	
	業務の改善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			91	
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	85	87	91	挨拶については、児童・教職員と保護者の差が大きい。相手意識をもたせ、具体的な指導を強化していく。
		挨拶をよくしている	91	70	91	
		「あ・は・は運動」を知っている(小学校のみ)	97	86	91	
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	94	92	100	
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	99	83	100	
	人権教育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	99	94	100	
	平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	91	94	100	
	特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている	95	88	100	
確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている	90	99	100	家庭学習の習慣は、改善がみられた。今後も家庭学習の習慣化に努めていくとともに、宿題と家庭学習の定義をはっきりさせていく。
	学習指導・教育課程	わかりやすい授業を行っている	91	94	100	
		家庭学習の習慣が身に付いている	86	62	100	
	キャリア教育	将来の自立に向けて適切に指導している	86	88	100	
長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きである		96				

健やかな体	保健・衛生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	96	95	100	基本的な生活習慣や体力向上の取組は、夏の暑さのためやりにくかった。今後も「あははも運動」の周知や健康管理への働きかけを続けていく。
	体力向上	早寝・早起き・朝ごはん(基本的な生活習慣)が身に付いている	89	72	100	
		体力向上に努めている	84	87	100	
	食育	食に関する教育活動を行っている	94	92	100	
信頼される学校	安全管理	児童生徒の安全に気を配っている	96	92	100	安全管理やPTA・地域・学校の連携に関しては、高い評価を得ている。児童が安心して学べる環境づくりを、今後も進めていく。
	情報提供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる	93	91	100	
	PTA・地域との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている	96	98	100	
	職員資質向上	研修が充実し、資質が向上している			100	
教育環境	環境整備	教育環境が充実し、整備されている	96	88	91	環境づくり、職場づくりを今後も進めていく。
	職場環境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる			91	

5 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

・おおむね高評価を得ている。保護者・児童・教師の意識(評価)に大きな差がある項目もあるので、発信の仕方や意味の捉え方を共通理解できるようにするなどの工夫が必要である。昨年度課題があった挨拶や家庭学習の項目においても改善がみられるので、相手意識をもたせた指導や一人一台端末の活用などを進めていき、地域や保護者との連携を深めることで、児童を育てていきたい。

6 学校関係者評価

・子供を育てていくためには、保護者を支えていくことも必要である。学校と連携して、地域総がかりで子供を育てていきたい。
 ・子供を取り巻く環境が劇的に変化している。地域、保護者、学校の協力が大切である。
 ・教師と保護者の評価で差があるものを分析し、改善してほしい。

7 対策等の見直し(学校関係者評価を受けて)

・今年度から学校教育目標に加えた「郷土愛を育む」ための取組を推進し、地域・保護者・学校の連携を深め、地域総がかりで子供を育てる雰囲気を醸成していく。
 ・より正確な評価をしてもらうように、質問の仕方として言葉の定義をはっきりさせたり、積極的な発信を行ったりしていく。

※「4 自己評価」の「項目」欄には、領域毎に空欄を設定している。ここには、重点目標に即し、学校独自の「評価項目」並びに「質問内容」を追加することができる。

<参考例> 読書活動、豊かな体験活動、部活動 等

※「4 自己評価」のアンケートは、4段階で回答するようになっているが、そのうち上位2段階を肯定的回答ととらえ、その割合(整数値のみ)を集計する。